

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05010150

政策目標	2 めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会 計 区 分	7 介護保険事業会計	[全体計画内容] ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	7 高齢者支援の充実	事業優先度	B	
単位施策	1 地域包括ケアの推進	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	地域支援事業(保健係)	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	6 地域包括支援センター	
事業指標	介護予防事業参加者数		#N/A	
事業目標	前年度比の増	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	有 主体的な介護予防への取組の実践	関係例規・法令名	有 介護保険法	
住民協働		関係個別計画名	有 介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画	

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 25 年度 事 業 内 容	平成 26 年度 事 業 内 容	平成 27 年度 事 業 内 容	平成 28 年度 事 業 内 容	平成 29 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	要介護になるおそれのある高齢者に対し、介護予防に資する事業を提供することにより、要介護者の増高を防止し、高齢者の福祉の向上を図る。	○介護予防2次予防高齢者施策 ・うつ、認知症予防、口腔機能向上、栄養改善事業 ○介護予防1次予防高齢者施策 ・老人クラブ健康相談、健康教育事業 ・転倒予防運動教室の開催 ・高齢者栄養改善事業	○介護予防2次予防高齢者施策 ・うつ、認知症予防、口腔機能向上、栄養改善事業 ○介護予防1次予防高齢者施策 ・老人クラブ健康相談、健康教育事業 ・転倒予防運動教室の開催 ・高齢者栄養改善事業	○介護予防2次予防高齢者施策 ・うつ、認知症予防、口腔機能向上、栄養改善事業 ○介護予防1次予防高齢者施策 ・老人クラブ健康相談、健康教育事業 ・転倒予防運動教室の開催 ・高齢者栄養改善事業	○介護予防2次予防高齢者施策 ・うつ、認知症予防、口腔機能向上、栄養改善事業 ○介護予防1次予防高齢者施策 ・老人クラブ健康相談、健康教育事業 ・転倒予防運動教室の開催 ・高齢者栄養改善事業	○介護予防2次予防高齢者施策 ・うつ、認知症予防、口腔機能向上、栄養改善事業 ○介護予防1次予防高齢者施策 ・老人クラブ健康相談、健康教育事業 ・転倒予防運動教室の開催 ・高齢者栄養改善事業
	計 画 事 業 費	事業費(千円) 4,865	973	973	973	973
財 源 内 訳	国庫支出金	1,215	243	243	243	243
	道支出金	610	122	122	122	122
	地方債	0				
	その他	2,020	404	404	404	404
	一般財源	1,020	204	204	204	204
実 績 事 業 費	事業費(千円)	723	723	0	0	0
	国庫支出金	180	180			
	道支出金	90	90			
	地方債	0				
	その他	300	300			
関 連 事 項	特定財源の名称 その他 ・地域支援事業交付金 ・一般会計繰入金	【評価・実績】	(実施内容等) ・健康相談他 482名 ・栄養改善事業 66名 ・口腔機能向上 23名 合計 571名 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	事業参加者数の増	事業参加者数の増	事業参加者数の増	事業参加者数の増
	年度達成率	74%	0%	0%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	15%	15%	15%	15%
	事業進捗状況	☆☆☆				

事業名	地域支援事業(保健係)	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田 通敏
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	佐々木 希美枝

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	高齢者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	介護予防事業参加者数
【抱える課題やニーズは】	加齢に伴う心身機能の低下や家の中に閉じこもりになること等から介護を要する状態になるおそれがある	指標(指標計算式/解説)	目標年度及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	介護を要する状態になることを防ぐ	① 介護予防事業参加者数の増加	目標年度 平成25年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	心身の自立性を保持し、健康で活動的な高齢者が増える		目標値 789名
			実績値 571名
			達成度 72.4%
		②	目標年度 平成25年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	健康相談・健康講話の実施	老人クラブ会員等を対象とした健康相談、健康講話、運動・栄養講座、調理実習などを実施した	
	家庭訪問による健康支援の実施	家庭訪問により、健康管理等に関する個別相談を実施した	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	高齢社会の進展により高齢者が増大する中、要介護高齢者の増大を防止し、高齢者が健康で活動的に高齢期を過ごす事は高齢者の重要な課題であり、介護予防に資する事業の必要性は高いと考える。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	歯科・口腔機能向上に関する事業においては計画通り進めることができなかったが、各種事業や家庭訪問等を通じて健康管理、介護予防の重要性の意識向上の啓発及び具体策に関する知識の普及を図ることができた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	老人クラブ等高齢者団体の協力を得て効率的に事業が実施できるよう工夫するとともに、高齢者対象の他の行事と日程を調整する等により効率的に実施することができた。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	調理実習・試食を実施する事業参加者からは受益者負担を求めている。また、老人クラブ未加入者等にも周知できるよう広報等を通じて広く事業の周知を図る必要がある。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
目標には至らなかったが、高齢社会が進行しており、要介護予防に向けて強化が必要である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
地域包括支援センター等関係機関との連携のもと、介護予防事業の実施により、健康の維持と介護予防支援の充実に努める。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止